



3月11日に発生いたしました「東北地方太平洋沖大地震」におきまして、被災された方々に対し、心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲者の方々とそのご家族に対し、お悔やみ申し上げます。

今日、日本には200万人を超える外国の方々が在住する中、この大震災では、日本人住民とともに地域で暮らし、地域社会をつくり上げている外国人の方々も被害に遭っています。日本人住民はもとより、外国人被災者への支援の輪は全国に広がっています。

さて3月11日の地震と原子力発電所の事故以来、日本は危険であるという報道がなされていますが、東京では人々はいつもと変わらずに生活をしています。外国人も普通に暮らしています。

本学院でも世界から学生が集まり、授業が始まりました。4月8日は文化授業でお花見に出かけました。

日本はかつて、困難を乗り越え戦後10数年で奇跡的な経済成長を果たしました。今回の災害に際しても不屈の精神力で乗り越え再び

不死鳥のように甦ります。

東北にはみなさんの同朋の方々がたくさんいらっしゃいます。本学院も復興に向けて、皆さんと共に頑張ることで東北の方々を最大限応援支援したいと思います。

今皆さんができることは将来に向けてしっかりと勉強することです。学力をつけ知識を身につけ将来の自分を築いていくことが今何よりも大切です。それを力にやがて世界に貢献することができます。

今回の震災によって私たちは多くの物を失いました。しかし同時に、善意や厚意、人々の心の温かさや優しさなどかけがえのないものを得ることができました。

家族や友人との絆がどんなに大切かを知りました。各国からも支援に駆けつけてくださり、多数の方がボランティアに参加して下さっています。

困難な状況の中で最大限に頑張り、人々を支援していくことが人間を大きく成長させることになると私たちは考えます。

私たちも日本語教育を通して皆さんのより良い将来のために貢献したいと考えます。

皆さんが頑張ることが自分のみならず世界を元気にします。それ

が世界の更なる発展へとつながります。

本学院では本年 4 月より、皆さんに「特別進学クラス（特進クラス）」を誕生させました。詳細については別途お知らせいたします。またオリエンテーションでもご説明いたします。

特進クラス

特別進学クラス（特進クラス）開講について

主旨

日本の難関大学進学を志望している学生達に、本学院（東京）の平日や土曜日の特別授業だけでなく、長野県志賀高原の素晴らしい自然に触れながら、より一層充実した学習環境を提供して難関大学合格を目指す。

本学院では、20年の進学指導の実績があり、東京大学（院）、御茶ノ水女子大学、東京工業大学、横浜国立大学、千葉大学などの国立大学をはじめ、早稲田大学、立教大学、中央大学、法政大学、明治大学などの私立大学に合格しています。2010年度は、入学時は日本語が全く出来なかった学生が、東京外国語大学・東京海洋大学

(国立)、上智大学 (私立)、などの難関校に合格しています。

本学院では、この間の指導実績をさらに充実させ、新たなプログラムで多数の難関大学合格を目指します。

1998年、長野県の志賀高原で第18回冬季オリンピックが開催され、世界中から多くの人を訪れました。大小21のスキー場があり、日本最大のスキーエリアです。

2000メートルを超える山々と高山植物や原生林などの自然があり、上信越高原国立公園に指定されています。冬はスキー・スノーボード、春は新緑、夏は避暑、秋は紅葉が楽しめる日本有数の高原です。この周辺は、温泉も湧き、天然記念物に指定された「源氏ぼたる」の生息地もあります。夏は幻想的な雰囲気、多くの観光客が訪れています。

日本大地震に関する Q&A

Q. 地震が怖いです。

A. 日本のビル、家は地震ではまず倒壊しません。

日本では、建物を建てる際には非常に厳しい審査があり、地震には非常に強い設計がされています。四川大地震では多くの家が崩れ被害を出しましたが、より規模が大きい今回の地震では、日

本全体でも倒れた家はほとんどありませんでした。東京では地震で倒れた家はありませんでした。

地震の震源の近くは大きな津波が襲いました。

東北地方の津波の被害の写真が大きく報道されていますが、東京に津波は来ていません。

Q. 放射線が来ていないのは本当ですか？

A. 来ていません。

地震の後、東京から 220 キロ離れた福島原発で事故が起こりました。

福島県で放射線が漏れたのは事実ですが、東京にはほとんど届いていません。

放射線というのは自然にも存在しているものです。4 月 9 日の、各都市の空気中にある放射線を列挙します。

東京 106.25

北京 77.0

上海 90.1

ラサ 182.5

単位は nGy/h です。

東京は、ラサよりずっと少ない放射線の量です。

ただしいずれこの程度の量では健康に被害は絶対にありません。

データの出どころ: 日本国文部科学省、中華人民共和国環境保護部

Q. 東京の水は危険ですか？

A. 安全です。

東京の水道水に含まれる放射線量は、4 月 9 日のそれぞれの物質のデータで以下の通りです。

ヨウ素 1 (300 以下なら安全)

セシウム 0.26 (200 以下なら安全)

単位は Bq/kg です。

日本の水道水の安全性は国際的にも評価が高く、水は一度沸かさなくても直接飲むことができます。

Q. 東京での生活が不安です。

A. 東京では地震の前後で生活が変わったことはありません。東京は日本の中では一番便利な都市です。

地震の直後は電車が動かない日がありましたが、4月現在東京に不便はありません。

日本語学校、大学など通常通り入学式が行われています。

東京でのアルバイト時給は日本で一番高く、また多くの進学先が集中して存在しており、働くにも進学するにも、日本で最も便利で理想的な都市です。

Q. 福島原発の事故はチェルノブイリの原子力発電所の事故とどのように違いますか。

A. チェルノブイリ原発の事故は原子炉が爆発しました。福島では原子炉爆発は起こしていません。

チェルノブイリ原発は事故状況を公表しませんでした。このため避難も遅れ、農作物や牛乳の摂取制限が行われていませんでした。しかし日本では情報は公開され、人々への避難勧告も適切に出され、摂取制限や出荷制限が厳格に行われております。

日本留学を考えている皆さん、

東京は安全です。以上をお読みになって安全な東京への留学を

躊躇しないでください。私たちは皆さんの安全を第一と考えます。

ぜひとも輝かしい将来の自分のために、目的を達成するために頑

張ってほしいと思います。

2011年4月12日

玉川国際学院

玉川 守